



北・その自然と人

札幌市博物館活動センター情報誌 ミューズ・レター

Muse Letter

札幌市博物館活動センターは自然系総合博物館の計画推進のため、市民とともに教育普及活動、展示・交流、調査研究、資料収集保存を行う活動拠点です。

2012.7 No.50

発行・札幌市博物館活動センター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002 FAX 011-200-5003 <http://www.city.sapporo.jp/museum/>

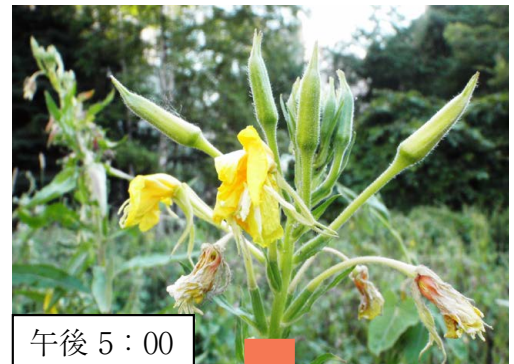
夜にさく花

夏も本番になり、夜なると草むらから虫の音が聞こえるようになってきました。その他に、夜に動きまわる生き物といえば、フクロウやモモンガ、コウモリ、ガといった動物が思い浮かぶかと思えます。植物にも、夜に花をさかせる種類があります。たとえば、市内の空き地や道端などでもみられるメマツヨイグサやオオマツヨイグサがそうです。マツヨイグサは漢字で「待宵草」と書きます。「月見草(つきみそう)」「宵待草(よいまちぐさ)」という呼び名のほうを知っている方もいるかもしれません。「宵」は日が暮れてからまだ間もない時間帯のことを指します。この植物は、まさに日が暮れるのを待って咲くのです。

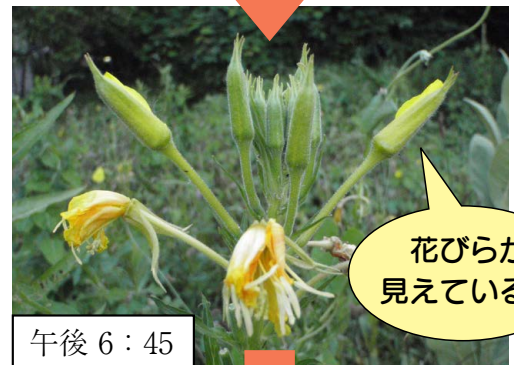
マツヨイグサの仲間は、夕方～夜に4枚の花びらをもつ黄色い花を咲かせます。1m近くなる茎に20～40個ほどの花をつけ、下から順番に咲いていきますが、1つ1つの花は一夜限りで朝にはしぼんでしまいます。そのため、花が開いているわずか数時間の間に、虫に花粉を運んでもらわなくてはなりません。どんな虫かという、マツヨイグサの仲間には、主にガが集まってくるそうです。夜の花には夜の虫、というわけです。

さらに、1度にたくさんの花粉を確実に運んでもらえるように、花粉どうしがネバネバした「粘着糸(ねんちゃくし)」でくっつきあっています。この粘着糸と一緒に虫の体や口に花粉がくっついて、なかなかふり落とされないようになっていると考えられています。まるで「糸引き納豆」のようになった花粉のかたまりは、虫メガネでも観察できます。夏の夜の夕涼みついでに、夜の生き物たちを観察してみたいはいかがでしょうか。(山崎)

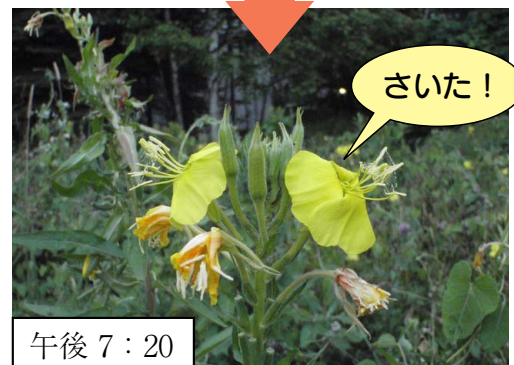
※メマツヨイグサ、オオマツヨイグサはどちらも、もともと日本になかった外来種です。



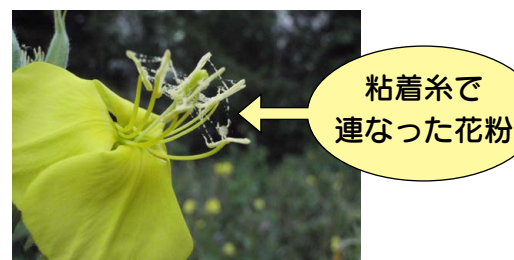
午後 5 : 00



午後 6 : 45



午後 7 : 20



オオマツヨイグサ (中央区北1西9)

連載!

札幌っ子 大杉解説員の 心のスケッチブック

Page2

環状通にはなぜリンゴの木が植えられているの？

ある日のこと、展示室で学芸員さんが高校生に扇状地の解説をする中で、果樹園の話をしていました。私はそれを聞いた時、「そうか！環状通りはちょうど扇状地のうえにあって、だから、リンゴの木が植えられているのか・・・」と、長年の疑問が解決したような気がしました。豊平区役所から国道36号までの環状通にリンゴ並木があり、これは平岸の発展の基礎となったリンゴ園をしのんで植えられたと言われています。今の札幌の地形図を見ると、市街地に果樹園の記号は全く見られません。今から41年前の昭和46年の地形図を見ると…ありました！（下図）

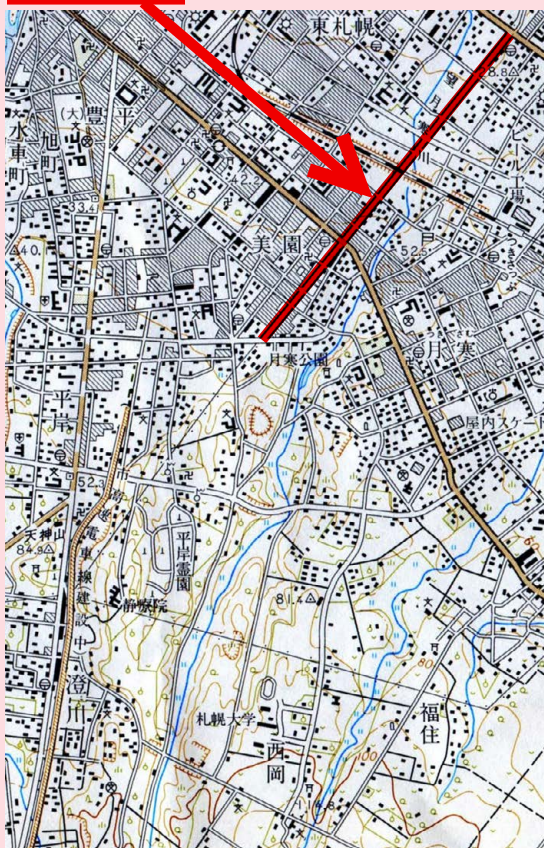
実は、リンゴは開拓の歴史だけではなく、札幌の地質とも深い関係があるのです。

札幌の街の中心部は扇状地の上にあります。一般的に、扇状地ができる過程は、川が水の流れで川岸・川底をけずり、小石や土砂を水と一緒に下流へと押し流し、川が山から平地にでるところで、急に流れがゆるくなり、押し流す力も弱くなると、石ころや砂が積もっていき、長い時間をかけて、扇（おうぎ）の形をした土地ができます。これが文字通り、扇状地です。扇状地は簡単に言えば「石ころが積み重なったすき間が多い土地」で、水はけがよいゆるやかな坂となります。果樹は水はけがよく、日当たりのよい土地でよく育ちます。なので、扇状地の上ではよく果樹が栽培されます。

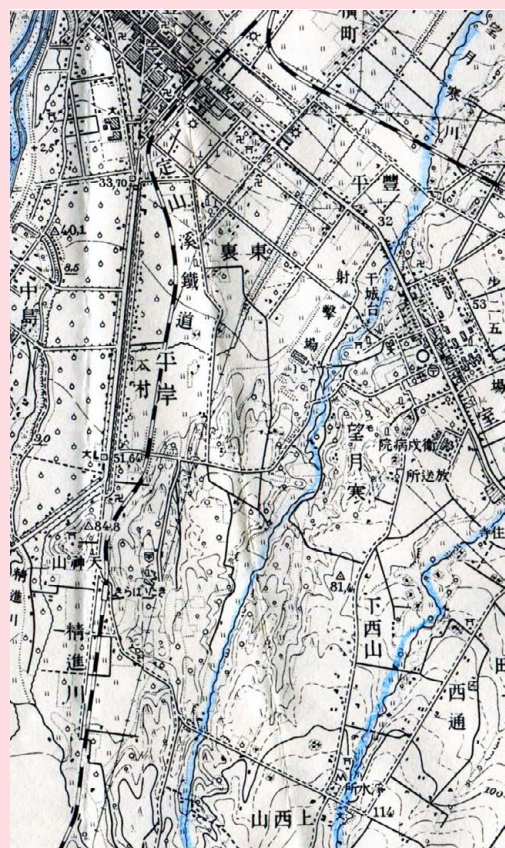
ただ、さらに詳しく学芸員さんに聞いたところ、平岸は今からおよそ4万年前に噴出した支笏火砕流の火山灰の上にあったのです。つまり、豊平区のリンゴ畑が直接生えていたのは、扇状地と同じように水はけのよい土地でも、扇状地ではないのです。地域の歴史は教科書に書いてあるように「扇状地のうえは果樹園に利用」という公式で単純に解決できるものではなかったのです！このお話を書くために色々調べてみて、札幌の独特の街のできかたを知ることができました。

参考：北海道大学総合博物館 企画展示 「豊平川と私たち—その生いたちと自然—」

今のリンゴ並木の近くは、昔はどうだった？ 果樹園マーク



昭和46年ごろ(国土地理院発行)



昭和10年ごろ(大日本帝國陸地測量部発行)
(いずれも学芸員所有の地形図より)